

2602

平成30年度 第53回群馬県高等学校総合体育大会 新体操男子個人

期日：平成30年5月12日（土）

場所：県立前橋工業高校 サブアリーナ

○印関東大会出場

個人総合

No	氏名	学校名	学年	クラブ				順位	スティック				順位	総合得点	順位
				演技順	得点	減点	決定点		演技順	得点	減点	決定点			
○ 6	萩原 龍	渋川	3	6	12.700	0.30	12.400	2	6	14.000		14.000	1	26.400	1
○ 5	馬場 颯胤	前工	3	5	13.900		13.900	1	5	11.600		11.600	2	25.500	2
○ 4	細野 立樹	前工	3	4	9.800	0.100	9.700	3	4	9.400		9.400	3	19.100	3
○ 3	高梨 夏南太	前西	2	3	9.400		9.400	4	3	9.100		9.100	4	18.500	4
○ 2	阿部 幸輝	前西	2	2	8.600		8.600	5	2	8.500	0.200	8.300	6	16.900	5
○ 1	木村 蓮	渋工	1	1	0.000		0.000	6	1	8.900		8.900	5	8.900	6

種目別「クラブ」

No	氏名	学校名	学年	クラブ				順位
				演技順	得点	減点	決定点	
5	馬場 颯胤	前工	3	5	13.900		13.900	1
6	萩原 龍	渋川	3	6	12.700	0.30	12.400	2
4	細野 立樹	前工	3	4	9.800	0.10	9.700	3

種目別「スティック」

No	氏名	学校名	学年	スティック				順位
				演技順	得点	減点	決定点	
6	萩原 龍	渋川	3	6	14.000		14.000	1
5	馬場 颯胤	前工	3	5	11.600		11.600	2
4	細野 立樹	前工	3	4	9.400		9.400	3



提出期限
県総体終了日
(決勝終了時)

送信者 高橋 真人
(報道用)

決 勝 戦 々 評 (男 子)

種 目	新体操 (団体・個人)
成 績	(団体) 1位 前工 (個人) 優勝 萩原龍 (渋川3・ハギワラリュウ)

戦 評 (200字以内)

団体競技では、昨年度のメンバーが半分は残っているものの部員不足の影響から、厳しい戦いを強いられている状況である。演技構成自体は昨年と比べ異なる工夫が施され、見ごたえがある。関東大会・インターハイへ向けて、今後更に完成度を高め上位入賞を目指してもらいたい。

個人競技では、萩原龍 (渋川3・ハギワラリュウ) が力を付けており抜群のダンプリング能力と表現力で上位を目指してもらいたい。

2601

平成30年度 第53回群馬県高等学校総合体育大会 新体操男子団体選手権大会

期日：平成30年5月12日(土)

場所：県立前橋工業高校 サブアリーナ

No	学校名	演技順	構成	実施	減点	決定点	順位
○ 1	前 工	1	8.100	6.800		14.900	1
2							
3							
4							
5							

○印関東大会出場



2604

平成30年度 第53回群馬県高等学校総合体育大会

男子 団体総合成績一覧表

2018/5/12(土)13:08

順位	都県名	学校名	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
1	群馬団体	高工	39.200	36.150	37.150	40.350	37.950	38.800	229.600

○印関東大会出場



平成30年度 第53回群馬県高等学校総合体育大会

男子個人総合成績一覧表

2018/5/12(土)13:25

順位	学校名	No	選手名	学年	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
1	高工	1	佐藤 怜	3	12.650	11.950	13.250	14.000	13.000	13.250	78.100
2	高工	4	田邊 友唯	1	13.300	11.900	12.050	13.300	12.100	12.750	75.400
3	高工	2	矢嶋 翔太	3	12.500	12.300	11.850	12.850	12.850	11.750	74.100
4	高工	3	大川 諄	2	13.250	11.500	11.150	13.050	12.050	12.800	73.800
○	高工	6	中島 龍哉	3	12.050	11.750	10.450	12.400	11.750	10.900	69.300
○	吉井	5	中曾根 宇岳	3	9.500	12.150	11.750	12.700	11.650	11.350	69.100
○	高工	7	大東 明騎	1	11.900	10.100	9.000	12.000	10.800	10.550	64.350
8	高工	8	浅井 勇人	1	10.950	2.250	8.700	10.950	9.150	10.400	52.400
○	太工	9	大澤 凌汰	2	9.400	4.450	1.150	10.100	9.300	0.300	34.700

○印個人関東大会出場



提出期限
県総体終了日
(決勝終了時)

2-9
No. 2606

送信者 島田 利夫
(報道用)

決 勝 戦 々 評 (男 子)

種 目	体操競技
成 績	1位 高工 11年連続 44回目の優勝

戦 評 (200字以内)

団体は高工一校のみの参加となった。

最後の鉄棒までほとんどミスのない演技を重ね、昨年度の点数を上回る得点を獲得し優勝を飾った。圧巻の演技内容であった。

個人は予想どおり高工の佐藤 伶、矢嶋翔太、田邊友唯の争いとなった。3種目終了まで並んでいたが、後半3種目で大技を繰り出し着地まで決めた佐藤が優勝し、貫禄の2連覇を飾った。

